

学校名	福島県立富岡支援学校		校長	小河原 健一
住所	福島県双葉郡富岡町大字大菅字蛇谷須167番地 福島県いわき市平馬目字馬目崎61(小学部：本校舎仮設校舎) 福島県いわき市四倉町字五丁目4番地(中・高等部：四倉校舎)		 本校 マスコット キャラクター チェリーちゃん	
TEL	0246-34-7050 (本校舎) 0246-32-7172 (四倉校舎)	ホームページアドレス	http://www.tomioka-sh.fks.ed.jp/	

校舎が離れても心はひとつ ～ICT機器や情報通信ネットワーク等の活用～

【取組の概要】

本校は、今年度から中・高等部を四倉高等学校内に移設し、小学部と離れた校舎での学習活動がスタートしました。校舎が離れても、教職員が一丸となって「**分かる**」授業を展開し、児童生徒の「**できる**」ことを確実に育てるために実践している、**ICT機器や情報通信ネットワーク等を活用した様々な取組**について紹介します。



産業現場等における実習事前学習



新入生歓迎会 (中)

「産業現場等における実習事前学習」での個別目標の発表や「新入生歓迎会」での自己紹介など、様々な場面でICTを活用しています。



国語 (高)

高等部の国語では調べ学習等に活用しています。小学部の自立活動においては、教師とのやりとりを促すツールとして**タブレット端末**を利用しています。



自立活動 (小)

本校では、「googleハングアウト」を活用し、職員会議や全体研修など、**テレビ会議形式での話し合いや協議**を行い、校舎間移動の時間を軽減し、多忙化解消を図っています。校舎が離れていても、職員間の共通理解を図りながら学校の運営を行うとともに、**同僚同士が学び合い**ながら、専門性の充実に努めています。

また、職員会議や全体研修の資料等については、PDFファイルにし、**ペーパーレス**で全員がパソコンで確認しながら会議を進めています。



テレビ会議の様子